

平成28年度横浜市訪問介護連絡協議会総会・基調講演

日時：平成28年 5月12日（木） 13：30～16：30

場所：横浜市健康福祉総合センター（横浜市中区桜木町 1-1）

第1部 総会

13：30～14：15

1. 開会
2. 来賓挨拶
3. 議長・議事録署名人選出
4. 審議事項

第1号議案：規約改正

第2号議案：平成27年度事業報告

第3号議案：平成27年度決算

第4号議案：平成28年度事業計画

第5号議案：平成28年度予算

第6号議案：役員選出

5. 代表挨拶
6. 議長解任
7. 閉会の挨拶

第2部 基調講演

14：30～16：00

萬田 緑平 氏

『在宅で最期を迎える』

～訪問介護にできること～』

第1号議案

横浜市訪問介護連絡協議会規約（案）

（目的）

第1条 本会は、横浜市を拠点とする訪問介護事業所の管理者またはサービス提供責任者および多職種との相互の連携・情報交換を行い、訪問介護サービスの質の向上を図る事を目的とする。

（名称）

第2条 本会は、「横浜市訪問介護連絡協議会」と称する。

（会員）

第3条 会員は、横浜市内の各区訪問介護連絡協議会等とする。

（活動）

第4条 本会は第1条の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 連絡協議会会議、研修会の開催
- (2) 訪問介護に関する情報収集等
- (3) 行政その他関係機関との連絡および連携
- (4) その他、目的を達成するために必要な活動

（役員及び幹事）

第5条 役員は代表1名、副代表2名、委員会委員長、会計1名、事務局3名以内

2. 幹事は各区を代表する者とする。但し、役員と重複の場合は役員と見なし当該区からは別にもう1名を幹事とすることができる。

（役員の職務）

第6条 代表は本会を統制し管理する。

2. 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は代行する。
3. 幹事は役職を分担し、会務の執行を図る。
4. 委員会委員長は委員会を運営、統括する。

（役員等の選任）

第7条 代表は幹事会で選出し、総会で選任する。

2. 副代表・会計・事務局は代表が指名し、総会で選任する。
3. 幹事は各区から1名を選出し、総会で選任する。
4. 委員会委員長は役員会で選任する。
5. 各委員会委員は本会会員および各区連絡協議会等の会員で構成する。

(役員任期)

第8条 役員任期は1年とする。但し、再任は妨げない。

2. 任期満了後も後任が就任するまでは職務を継続するものとする。
3. 任期中に欠員が生じた場合の後任は、代表が指名し、幹事会で承認を求める。

(相談役)

第9条 協議会は次の相談役を置き、訪問介護事業に関する助言をする。

2. 役員推薦により選出し、総会で承認を得た者。

(会議の種類)

第10条 本会の会議は、次の通りとする。

- (1) 総会
- (2) 役員会
- (3) 幹事会
- (4) 幹事会が必要とする委員会
 - ① 広報委員会
 - ② 研修委員会
 - ③ 多職種連携委員会

(会議の開催)

第11条 会議の開催は、次の通りとする。

- (1) 総会は毎年度初めに代表が招集し、幹事の過半数の出席をもって成立する。
- (2) 臨時総会は幹事の過半数以上が必要と認めた場合、代表が招集する。
- (3) 役員会は必要の都度、代表が招集する。
- (4) 幹事会は必要の都度、代表が招集する。
- (5) 委員会は必要の都度、各委員会の委員長が招集する。

(総会の審議事項)

第12条 次の事項は、総会の決議を経なければならない。

- (1) 事業報告並びに収支決算
- (2) 事業計画並びに収支予算
- (3) 規約の変更
- (4) 会費の額
- (5) 幹事の選任並びに承認
- (6) その他、総会の決議を必要と認められる事項。

(会計及び会費)

第 13 条 本会の運営は、会費および寄付金その他で行う。

2. 会費は各区団体単位とし、金額は総会で決定する。

(会計監査)

第 14 条 会計監査は総会で選出し承認する。

2. 会計監査員は 1 名とし、会計の執行状況を監査する。

3. 役員は会計監査員を兼務することはできない。

(会計年度)

第 15 条 本会の会計年度は、当該年度の 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日とする。

(会則の変更)

第 16 条 この規約を変更する場合は、総会において出席者の 3 分の 2 以上の同意を得なければならない。

附則

この会則は、平成 2 5 年 5 月 3 0 日から施行する。

〃 平成 2 6 年 4 月 1 0 日改定施行する。

〃 平成 2 7 年 5 月 1 1 日改定施行する。

〃 平成 2 8 年 月 日改定施行する。

(注) 下線部分が今回改定箇所となります。

第2号議案

横浜市訪問介護連絡協議会 平成27年度活動報告書（案）

横浜市訪問介護連絡協議会（以下「会」）の平成27年度活動報告をします。

1. 区連絡会の支援

幹事会において、区連絡会の活動の進捗状況を共有するとともに、区連絡会が主催する研修会の講師及び講師の紹介をするなど、区連絡会の活動を支援しました。

2. 行政、地域包括支援センター、各連絡会等との連携

横浜市をはじめとして、横浜市議会、区役所、地域包括支援センター、横浜市介護支援専門員連絡協議会、横浜市訪問看護連絡協議会等との連絡を密にとりました。
平成28年1月25日、横浜市介護支援専門員連絡協議会と合同研修会を行い、盛況に終わりました。

3. 制度等への相談、提言等

役員会において、6月22日、昨年に続き自民党・公明党との政党のヒアリングに参加し、地域医療介護総合確保基金、総合事業及び人材育成に関して要望を提言しました。

4. 会議

(1)総会 : 5月11日、第3回総会を開催しました。

総会にあたり、社会保障審議会介護給付文化委員の山際敦氏を招聘し、「これからどうなる?!訪問介護」と題して基調講演を行いました。
240名の参加がありました。

(2)幹事会 : 定例で毎月（全11回）、各区代表による幹事会を開催しました。

(3)役員会 : 定例で毎月（全12回）、幹事会に先立ち、議案を話し合いました。

(4)委員会 : 適宜以下の委員会を開催しました。

①広報委員会

- ・ホームページの更新を月に2度行いました。
- ・研修の撮影等を行いました。
- ・広報誌の作成を行いました。

② 研修委員会

- ・サービス提供責任者向けのリーダー育成を目的とした伝達研修とリスクマネジメント研修を講義と実技に分け、計4回行いました。
- ・各区連絡会が主催する研修会の講師及び講師の紹介を行い、区連絡会研修の支援をしました。

③ 多職種連携委員会

- ・多職種連携委員会としての平成27年度の目標を介護支援専門員との連携と訪問看護との連携をとっていくことを委員会として確認しました。
- ・横浜市介護支援専門員連絡協議会と共催で研修を企画し開催することを決定し打ち合わせを行いました。
- ・平成28年1月25日、横浜市介護支援専門員連絡協議会との共催研修開催しました。
～グリーンケアを学ぶ～「介護の現場でグリーンケアを活かすために」
講師：株式会社ジーエスアイ
代表取締役 橋爪 健一郎氏
訪問介護事業所出席者：46名
- ・研修後、介護支援専門員との交流会を開催しました。

④ リスクマネジメント委員会

- ・災害時等ヘルパー派遣困難時の説明及び同意書について参考資料として作成例を提示しました。
- ・身近なリスクマネジメントをテーマに「ヒヤリハット・事故事例集」を作成しました。

5. 研修会

(1) サービス提供責任者研修（講師養成研修）

日時：8月20日（木）・8月24日（月）13:00～16:00

場所：横浜市福祉サービス協会 研修センター

対象：横浜各区連絡会・会員事業所の代表者3～4名

内容：安心・安全な移乗介助の介護技術を身につけ、各区連絡会に持ち帰り各区の会員事業所に伝達研修を行うリーダーの育成を目指す。

講師：元横浜市福祉サービス協会・24時間巡回サービス提供責任者
齋藤 美貴 氏

参加者：87名（8/20：42名、8/24：45名）

(2) サービス提供責任者向け研修（講義研修）

日時：10月22日（木）10月23日（金）13:00～16:30

場所：フォーラム南大田（男女共同参画センター横浜南）大研修室

対象：横浜市内の訪問介護事業所に所属するサービス提供責任者

内容：訪問介護におけるリスクマネジメント

講師：NPOケアセンターやわらぎ代表理事 石川治江氏

参加者：134名（10/22：70名、10/23：64名）

6. その他

第3号議案

平成27年度横浜市訪問介護連絡協議会収支報告書

会計 山口 ひとみ

<収入>

(単位:円)

項目	金額	内訳
前期繰越金	391,091	
横浜市健康福祉局より(分担金)	640,000	訪問介護事業所向け研修会分担金
会費	180,000	10,000×18区
研修参加費	134,000	10/22・23
パンフ戻入金	8,316	
利息	145	
収入合計	1,353,552	

<支出>

(単位:円)

項目	金額	内訳
27年度総会関係	52,510	会場費等
研修費	831,828	講師料・研修用資料作成費等 各区研修費
幹事会運営費	8,000	幹事会会場費(神奈川公会堂)
年会費	30,000	自民党各種岩体協議会会費 介護労働安全センター
郵送料	14,760	パンフレット郵送代
手数料	1,134	振込手数料810, 金種指定324
通信費	804	携帯電話代
役員、委員会委員交通費	165,932	
事務局費	30,000	
支払合計	1,134,968	
次期繰越金	218,584	
	1,353,552	

平成27年度の会計について監査を執行し、収入・支出ともに正確に記帳整理されており帳簿・証拠書類の保管は完全であることを認める。

平成28年4月21日

監事

秋保清美 

第4号議案

横浜市訪問介護連絡協議会 平成28年度活動計画（案）

横浜市訪問介護連絡協議会（以下「会」）の平成28年度活動計画を策定します。

1. 区連絡会の支援

区連絡会の活動の進捗状況を共有するとともに、区連絡会の活動を支援します。

2. 行政、地域包括支援センター、各連絡会等との連携

横浜市をはじめとして、横浜市議会、区役所、地域包括支援センター、横浜市介護支援専門員連絡協議会、横浜市訪問看護連絡協議会等の各連絡会との連絡を密にとり、研修会の合同開催、連携を強化します。

3. 制度への相談、提言等

介護保険制度・障害者総合支援法等の次回の制度改正に向けた情報収集及び意見集約や提言をしていきます。

4. 研修会

各区連絡会の研修会のほか、年に1回以上、会として研修会を開催します。
区連絡会の研修会についても、講師派遣の相談等、支援します。

5. 会議

(1)総会：予算・決算のほか、必要な事項について総会を開催します。

(2)幹事会：毎月定例で、各区代表による幹事会を開催します。その他、必要に応じて随時開催します。

(3)役員会：幹事会に先立ち、毎月定例の役員会を開催し、事業計画・事業報告等を話し合います。その他、必要に応じて随時開催します。

(4)委員会：以下の委員会を開催します。

①広報委員会

②研修委員会

③多職種連携委員会

⑤ その他、必要と認められた委員会

6. 委員会

(1) 広報委員会

- ・ ホームページの運営と管理をします。
- ・ 総会、研修会及びイベントの広報活動を行います。
- ・ 他団体への広報活動を行います。

(2) 研修委員会

- ・ 訪問介護員、サービス提供者向けの研修及び事例検討会等を主催します。
- ・ 各区連絡会の研修企画及び講師派遣の助言を行います。

(3) 多職種連携委員会

- ・ 居宅介護支援専門員連絡協議会との共催研修や勉強会を開催し、利用者が自立に向けた生活をおくることができるための連携を深めていきます。
- ・ 横浜市訪問看護連絡協議会と合同勉強会を開催する等医療と介護の連携のために連絡協議会として行っていきます。

7. その他

第5号議案

平成28年度横浜市訪問介護連絡協議会予算（案）

<収入>

（単位：千円）

項目	金額	摘要
27年度繰越金	218,584	
横浜市健康福祉局より（分担金）	640,000	
会費	180,000	10000円×18区
研修参加費	360,000	2,000円×60名×3回
収入合計	1,398,584	

<支出>

（単位：千円）

項目	金額	摘要
総会関係費	100,000	
幹事会等会議費	250,000	交通費、会場費、資料代
研修費	640,000	
広報関係費	200,000	HP100,000 会報 100,000
年会費	30,000	
事務局費用	100,000	
通信費	50,000	電話、郵送代
予備費	28,584	
支出合計	1,398,584	

第6号議案

横浜市訪問介護連絡協議会平成28年度役員候補者（案）

役職	氏名	区	所属事業所等
代表	植田 幸江	—	横浜市福祉サービス協会本部
副代表	田中 政春	西区	かのこネット 藤棚
副代表	陸 ^{くが} くみ	保土ヶ谷区	フルライフ保土ヶ谷
広報委員長	秋保 清美	西区	NPO リカーズ・コレクティブ たすけあいぐっぴい
研修委員長	吉田 真美	鶴見区	横浜市福祉サービス協会 ヘルパーステーションつるみ
多職種連携委員長	青木 辰夫	瀬谷区	すずかぜヘルパーステーション
会計	細川 佳宏	旭区	しあわせ介護
相談役	日高 淳	神奈川区	ステップ介護
会計監査	田中 利幸	緑区	アサヒサンクリーン在宅介護センター横浜緑
事務局	青柳 かおる 田中 みどり	都筑区 中区	都筑区医師会ヘルパーステーション ケアサービス コパン

平成28年度総会進行委員

司会	五十嵐 眞記子	代表	日高 淳
議長	青木 辰夫	副代表	植田 幸江
書記	青柳 かおる	副代表	田中 みどり
議事録署名人	田中 利幸 佐藤 順子	会計	山口 ひとみ
		事務局	青柳 かおる 田中 政春